

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	児童館事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	児童館・児童センターの利用者	意図	児童厚生施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康増進や情操を豊かにすることを目的に事業を行うに当たり、円滑な運営を確保する
事業内容	児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えるために、市内7か所に設置された児童館・児童センターの円滑な事業運営を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	児童館は児童への健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、または情操を豊かにすることを目的として設置されてきたが、近年は地域の子育て支援に拠点として役割を担うため、幼児向け事業も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	年間延べ利用者数	134,681	142,281	148,451	人	↑↑↑	4月～3月の利用者数の合計
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 転入者の増加に伴い利用者数が年々増加している。特に未就学児及びその保護者の利用者が学童よりも増えていることから、幼児グループやにこにこサロンなどの幼児向け活動やベビー体操や人形劇など乳幼児向けのイベントを増やして実施している。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		82,366,491	76,904,864	70,320,903				
事業費(b)(円)		19,409,491	14,744,864	13,775,903				
うち一般財源		19,409,491	14,744,864	13,775,903				
職員給与と費(c)(円)		62,957,000	62,160,000	56,545,000				
人役・職員(人)		7.00	6.00	6.00				
人役・再任用(人)		1.00	2.00	1.00				
人役・臨職(人)		9.00	9.00	10.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	平成27年度から南流山地区で実施している移動児童館を平成28年度からおおたかの森地区でも追加して実施する。	③取組の課題	おおたかの森地区及び南流山地区への児童館の設置要望が増えている。
②今年度(H28)に実施した取組	南流山福祉会館で16回、おおたかの森センターで9回移動児童館を実施した。	④今後の改善計画	引き続き南流山地区及びおおたかの森地区に移動児童館を実施するとともに、おおたかの森センターと連携して内容の充実を図る。